

曲リスト

1. 放浪の唄
2. たえなる時に
3. シリアスな夜
4. ロマンチックをおくって
5. 渚にて
6. ひとりぼっちの夜空に
7. 地下鉄にのって
8. 青空
9. 男達の詩（うた）（Remix Version）
10. 友あり
11. レールが鳴ると僕達は旅がしたくなる
12. 時には詩人のように
13. 裏窓（Bonus cut on CD）

データ

1991 年 6 月 12 日発売。

タイトルの意味は " 緊張緩和 "。

頭を丸めて初アルバム。

レビュー

お名前が「◆◆◆◆◆」は、ずっと昔の HP にコメント頂いたものです。

- ・人生を旅する男の夢とはかなさを感じる。◆◆◆◆◆
- ・ある意味では地味な作品かも知れない。世間では完全におじさんの年齢に達した拓郎が「男」を歌っているアルバムであると受け止める。派手な曲は「男達の詩」くらいしかないが、上記「男」をキーワードに非常に完成度のあるアルバムに仕上がっている。◆◆◆◆◆
- ・デタントツアー熊本公演のときに、ギターをやっていた稲葉さんは銀綿郎さんの後輩です。おかげでバンドの皆さんと一緒に飲みに行けました。もちろん拓郎さんとも会いました。（拓郎さんに会ったのは銀綿郎さんだけです・・）ちなみに私は銀綿郎さんの彼女です。◆◆◆◆◆
- ・このアルバムを聴くと何故か夏を思いだすんです。発売日、クラブをさぼって買いに行ったことを覚えています。◆◆◆◆◆